FINE Vu

T9 Vu

取 扱 説 明 書

Invite to the new value
inbyte

FINE DIGITAL

FineVuドライブレコーダーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書では、ドライブレコーダー『FineVu T9Vu』の取り扱い方法をご案内しています。重大な注意事項や、製品機能なども記載されておりますので、製品をご利用になる前に必ずご一読ください。
また、お読みになった後は、大切に保管してください。

▌製品の仕様について

» 製品の仕様や本書の内容は、性能改良のため、事前の通告なしに変更されることがあります。そのため、お買い上げの時期によっては、同一製品であっても多少の差異が生じる場合がございます。

» データが記録されなかったり、破損していた場合など、本製品を使用したことで生じたいかなる損害についても、弊社では一切責任を負いません。

» T9Vuの最新情報やファームウェアは、株式会社INBYTEのホームページ（www.inbyte.jp）で確認することができます。

▌著作権と商標

» 著作権法で許可されている場合を除き、本書のいかなる部分も、株式会社Finedigitalによる事前の書面許可なしに複製・コピー・翻訳することはできません。

» 『FineVu』は株式会社Finedigitalの商標であり、株式会社Finedigitalによる許可なしに使用することはできません。

» 記載されている各会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

▌認証

本製品は、FCC規則パート15に準ずるClassAのデジタル機器の制限事項に準拠しています。
これらの制限事項は、商業地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。
本製品は無線周波数エネルギーを生成し使用しています。また、無線周波数エネルギーを放射する可能性があるため、本書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

製 品 名：ドライブレコーダー（T9Vu）
認証番号：MSIP-REM-FDK-T9Vu
申請者名：株式会社Finedigital
製造業者：株式会社Finedigital（大韓民国）

目次

◆ご利用上の注意 …… 4～5
警告 …… 4
注意 …… 4
仕様について …… 5
◆製品の特長 …… 6
◆セット内容 …… 7
◆各部の名称 …… 8
フロントカメラ …… 8
リアカメラ（オプション） …… 8
◆設置方法 …… 9～13
フロントカメラの設置 …… 9
リアカメラ（オプション）の設置 …… 10
V/OUTケーブル（オプション）の接続 …… 11
GPSモジュール（オプション）の設置 …… 12
常時電源コード（オプション）の設置 …… 13
◆製品の機能 …… 14～19
２種類の動作モード …… 14
動作モード・録画方式の仕様 …… 15
LEDの表示 …… 16
音声案内の内容 …… 16
検知情報レポート機能 …… 17
フォーマットの定期アラーム機能 …… 18
ファイルエラー検出機能 …… 19
液晶画面の操作 …… 20～24
ライブプレビューの表示 …… 20
録音のオン／オフを切り替える …… 20
本体メニューを表示する …… 21
設定変更ができる項目の一覧 …… 22
液晶画面での録画データ再生 …… 24
◆専用プレイヤーを使用する …… 25～32
T9Vu Playerの特長 …… 25
インストールの手順 …… 25
システム要件 …… 25
T9Vu Playerの画面構成 …… 26
録画データをリストに読み込む …… 28
T9Vu Playerの環境設定 …… 29
T9Vu Playerの設定を変更する …… 30
T9Vu本体の環境設定 …… 31
T9Vu Playerの設定を変更する …… 32
◆バックアップとメンテナンス …… 33～35
録画したデータをパソコンにバックアップする …… 33
microSDカードのフォーマット …… 34
ファームウェアのアップグレード …… 35
◆故障かな?と思った時は …… 36
◆録画時間と仕様の一覧 …… 37
◆保証とアフターサービス …… 38

ご利用上の注意

⚠ 警告 以下の事項を守らなかった場合、思わぬ危険な状況が発生し、大けがや死亡事故に至る危害が発生する恐れがあります。

»運転中は本製品を操作しないでください。

»電源コードに損傷が見られる場合、そのまま使用せず、ただちに交換してください。

»電源コードを改造・加工しないでください。

»本製品を定格電圧を超えて使用しないでください。

»本製品を高湿度または引火性液体や可燃性ガスにさらされる恐れのある環境で使用しないでください。

»直射日光が長時間あたる場所など、極度に高温になる環境に本製品を放置しないでください。

»運転の妨げになる場所に本製品を設置しないでください。

»コードおよびケーブルはしっかりと差し込んでください。

»金属や可燃性物質が本体差込口およびスロット部分に入らないようにしてください。

»濡れた手で本製品を操作しないでください。

»本製品をお子さまの手の届くところに放置しないでください。セット内容には小さな部品も含まれておりますので、誤飲のおそれがあります。

»本製品を使用する際は、布などで覆わないでください。

⚠ 注意 以下の事項を守らなかった場合、思わぬ危険な状況が発生し、怪我や損害が発生する恐れがあります。

»常時電源コードの設置は個人では行わないでください。車種により接続方法が異なりますので、必ず専門の技術者に設置をご依頼ください。誤った接続を行うと、製品故障及び車両事故の原因となるおそれがあります。

»電源コードやケーブル類は、無理に曲げたり、引きのばしたり、重い物の下に置いたりしないでください。

»本体（特にレンズ・ボタン・液晶画面など）を強く押さないでください。

»尖ったものや鋭いものを本製品に対して使用しないでください。

»本製品は防水仕様ではありませんので、水などをかけないでください。手入れする際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。

»本製品を分解または改造しないでください。製品が破損したり、データが失われる原因となります。また、分解・改造した製品は保証対象外となります。

»長時間製品を使用すると、環境によっては本体温度が非常に高くなる場合があります。触れる際には十分にご注意ください。

»本製品は埃などを避けて保管してください。製品内部に異物が入り、火災や故障の原因となるおそれがあります。

»本製品を長時間使用しない場合、電源コードを抜いてください。

»電源コードやリアカメラ、その他アクセサリは必ず純正品をご利用ください。

仕様について

»**本製品は他社製の機器との互換性および併用を保証するものではありません。**干渉および互換性に関する問題は、お客さまの責任で行っていただきます。

»**本製品はFCC認証を取得していますが、電子機器の性質上、アンテナなどの近くに設置すると、電波干渉が起きる場合があります。**

»夜間または逆光時など、明るさが極端に弱く（強く）なる場合、記録画質が低下することがあります。

»ご利用のパソコンのスペックにより、T9Vu Playerが動作しなかったり、音声や映像が途切れて再生される場合があります。

»駐車モード時の動体検知は、動体が光を反射しづらい色（黒や赤など）の場合、夜間では動作しないことがあります。

»駐車モード時の動体検知は、風で樹木が揺れた場合や、光のちらつきなどにも反応する場合があります。

»走行モードと駐車モードを切り替える際、録画が一時的に中止されます。

»街路灯、電源周波数、バックライトのちらつきや周囲の環境などにより、信号が点滅して録画される場合があります。

»本製品に異常が発生した場合は、INBYTEサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用を続けた場合、問題が悪化する恐れがあります。（ご使用方法によっては、通常のサポートを受けることができない場合がございます）

»GPS信号は本体電源が入った後に受信を開始します。周辺の環境（建物、地下、樹木等）・天候・設置場所などによっては、受信できなかったり、受信が遅れる状況があります。

»その他の機器（ETCなどの電子機器）や着色ガラスのウィンドウは、GPS受信に影響を与えることがあります。

»動作中にmicroSDカードを抜かないでください。microSDカードを取り出す前は、必ず本体から電源を抜いてください。

»microSDカードは、その性質上、保存と書き込みを繰り返すうちにファイルシステムが破損し、正常に記録出来なくなる事があります。定期的にフォーマットを行うことで、ファイルシステムの破損を予防できます。

»microSDカードには書き込み上限回数があり、消耗品の扱いとなります。

»microSDカードは純正品または弊社にて推奨している物をご利用ください。他社製品を使用することにより生じたいかなる問題についても弊社では責任を負いません。

»残しておきたい録画データは、外部ストレージなどを使用してバックアップしてください。（PC、外付けHDD等）

»T9Vu Playerで製品の設定を変更する際は、microSDカードをフォーマットしてください。ただし、録画データも全て削除されますので、必要なデータはバックアップを取ってください。

製品の特長

■■重要なシーンを逃さないための録画技術

»前方200万画素、リア30万画素のイメージセンサー搭載※1

»急な飛び出しも見逃さない、広画角レンズを使用

»HD画質（1280×720）と30fps（前方20fps+後方10fps）で滑らかに録画

■■多様な機能で使いやすさを追求

»ライブプレビュー・録画データ再生・本体の環境設定変更が本体のみで可能

»常時録画・イベント録画・モーション録画など、さまざまな録画方式に対応 ※2

»GPSモジュールが使用可能、走行情報を自動で記録 ※3

»内蔵のGセンサーで振動の有無を監視。駐車モードへの自動切り替えや、衝撃感知によるイベント録画を実行 ※4

»外部出力機能でカーナビなどにリアルタイム映像を出力

»本体からmicroSDカードをフォーマット可能

»12V～24V車に対応

■■録音・音声案内機能を搭載

»日本語音声案内で動作状態をわかりやすくアナウンス

»録音やスピーカー出力のオン／オフ機能を搭載

»高性能な内蔵式マイクで周辺の音も逃さず記録

■■さまざまな保護機能で安心をサポート

»スーパーキャパシタを内蔵。電源遮断時の終了動作を保護

»バッテリー放電防止機能で放電を最小限に

»駐車モード中の高温・バッテリー電圧低下を監視し、自動で電源を遮断 ※4

■■機能的なデザイン

»柔らかい曲線を用いた、親和性の高い本体デザイン

»駐車中に点灯するセキュリティLED（オフ設定も可能） ※4

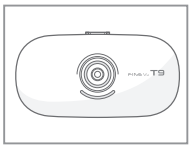
※1 リアカメラはオプション（別売）です。

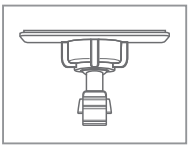
※2 モーション録画など、駐車中の録画にはオプション（別売）の常時電源コードが必要です。

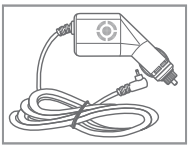
※3 GPSモジュールは別売です。

※4 駐車モード起動には別売の常時電源コードが必要です。

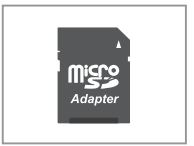
セット内容


フロントカメラ

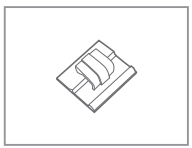

フロントカメラ用ブラケット


シガー電源コード

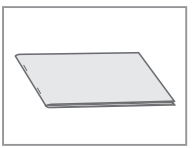
microSDHCカード（16GB）



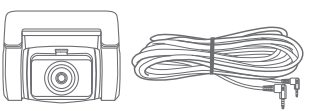
SDカードアダプター

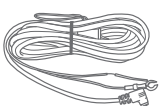

配線用クリップ× 5

設置用両面テープ

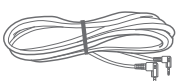

取扱説明書（本書）

オプション（別売品）


リアカメラセット

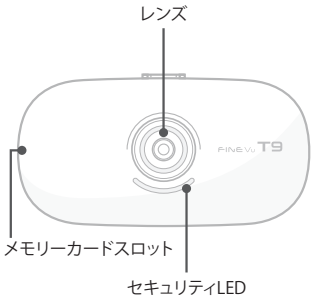

常時電源コード

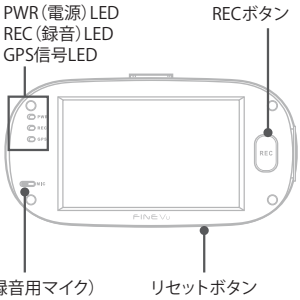
GPSモジュール

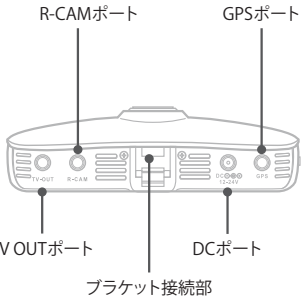

4極ミニプラグ用V/OUTケーブル

各部の名称

■フロントカメラ（前面・裏面・上部）

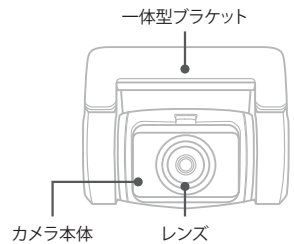


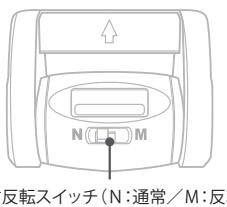




■リアカメラ（オプション）

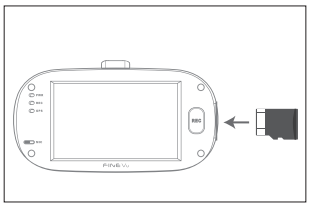
※左右反転スイッチの切り替えは、再起動後に適用されます。



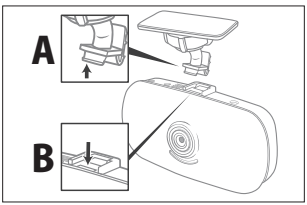


設置方法

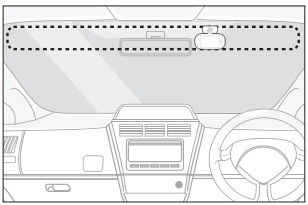
▌フロントカメラの設置（シガー電源コードを使用）



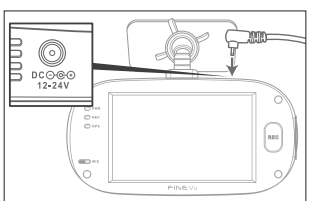
1 メモリーカードスロットにmicroSDカードを挿入します。※microSDカードの向きにご注意ください。



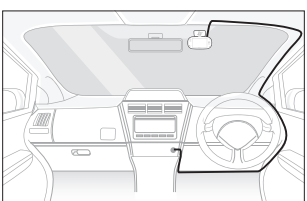
2 つめ部分（**図A**）をブラケット接続部レンズ側（**図B**）に引っかけるようにして差し込み、カチッと音がするまで押します。※ブラケットを折らないようご注意ください。



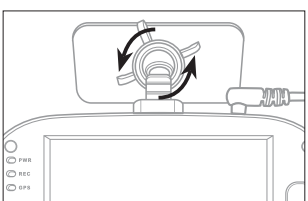
3 ブラケット上部に両面テープを貼って保護シートを剥がし、**フロントガラスの上部20%の範囲内で、運転手の視界の妨げとならない位置**に取り付けます。



4 DCポートにシガー電源コードを接続します。

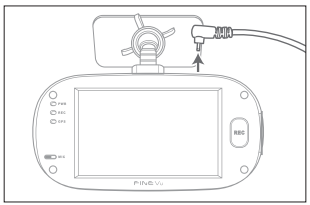


5 シガー電源コードを車両のシガーソケットと接続し、配線用クリップを使用して線を整理します。

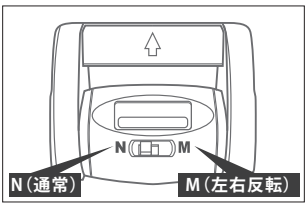


6 ブラケットの角度ネジを緩めてカメラの向きを調整した後、しっかりと角度ネジを締め直します。

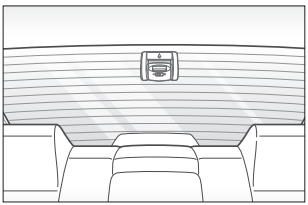
▌リアカメラ（オプション）の設置



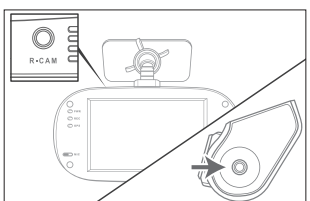
1 設置前に、フロントカメラから電源コードを抜きます。



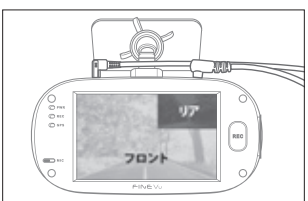
2 使用目的に合わせて、リアカメラの設定スイッチを切り替えます。



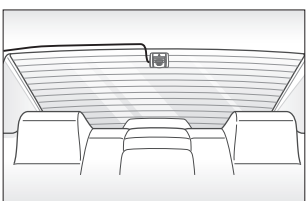
3 ブラケット上部の両面テープから保護シートを剥がし、リアガラスに取り付けます。必要に応じてカメラ本体を上下に回し、撮影角度を調整します。



4 カメラ接続ケーブルの端子（大）をフロントカメラのR-CAMポートに、端子（小）をリアカメラの接続ポートにつなぎます。



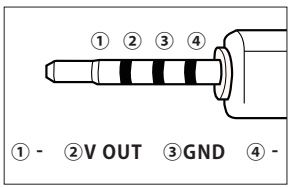
5 フロントカメラに電源コードを接続し、ライブプレビュー画面にリアカメラの映像が表示されていることを確認します。



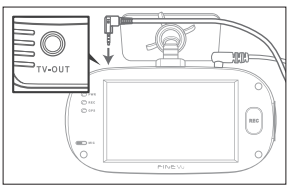
6 配線用クリップでカメラ接続ケーブルを配線します。**※アンテナが設置されている場合、できるだけ遠ざけて配線してください。**

▌V/OUTケーブル（オプション）の接続

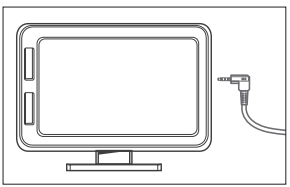
外部ディスプレイへの出力には４極ミニプラグ用V/OUTケーブル（オプション）が必要です。４極ミニプラグには極性があり、**端子とポートの極性が一致しない場合、映像を出力することができません。**
４極ミニプラグ用V/OUTケーブルおよび接続する外部ディスプレイの極性をご確認の上でご利用ください。



1 ４極ミニプラグ用V/OUTケーブルの極性を確認します。



2 フロントカメラのTV OUTポートに、ケーブルを接続します。



3 ケーブルとディスプレイを接続します。

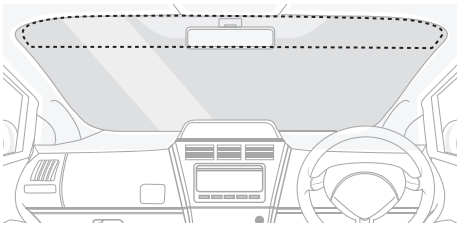
»ディスプレイへ出力される映像は、本体の液晶画面と同様にメイン・ワイプまたはメインのみの状態で表示されます。（➡P.20）

»リアカメラを接続していない場合は、フロント映像のメイン表示のみ利用できます。

»リアカメラの左右反転スイッチをM（反転）にしている場合は、ディスプレイへも反転した状態で出力されます。

»ディスプレイ出力中に表示を切り替える場合、液晶画面の右上をタッチしても切り替わりません。本体メニュー『システム設定：LCD映像出力』から設定を変更してください。（➡P.23）

▌GPSモジュール（オプション）の設置

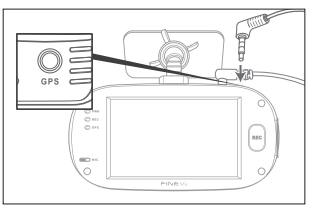


GPSモジュールの設置場所に関する確認事項

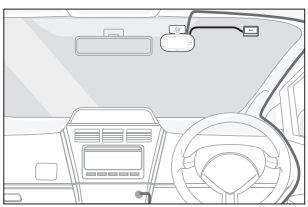
»他の車載機器の周辺や、アンテナ・フロントガラスの着色部・車検証のステッカーが貼ってある場所などを避けて取り付けてください。

»GPS信号を受信しづらい場合、設置場所の変更をご検討ください。

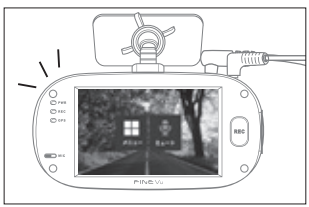
»フロントガラスの上にひさしやルーフなどを設置している場合は、受信できない場合があります。



1 フロントカメラのGPSポートにGPSモジュールを接続します。



2 GPSモジュールをフロントガラスに貼り付けます。



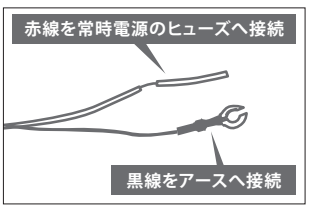
3 車両のエンジンを始動させます。GPS信号LEDが緑点灯していることをご確認ください。（受信には時間がかかる場合があります）

▌常時電源コードの設置

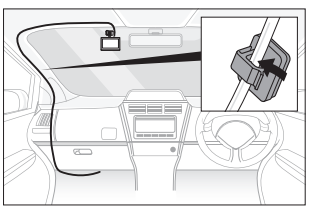
⚠ 警告 以下の事項を守らなかった場合、思わぬ危険な状況が発生し、大けがや死亡事故に至る危害が発生する恐れがあります。

常時電源コードの設置は、ヒューズボックスへの接続が必要となります。配線に誤りがあった場合、製品や車両が故障する恐れがありますので、**必ず専門業者にご依頼ください。**
また、ご依頼の際には本書を提示し、業者様にも注意事項をご確認いただくようお願い申し上げます。

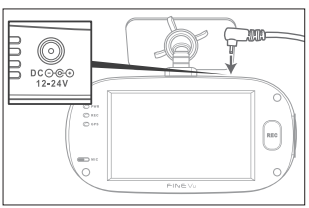
1 ヒューズボックスの蓋を開けます。**ヒューズボックスの位置やヒューズの配列は、車種ごとの取扱説明書をご参照ください。**



2 常時電源コードの**赤線を常時電源**の入るヒューズへ、**黒線をアース**へ接続した後、配線用クリップを使用して線を整理します。



3 配線用クリップをピラーなどに貼り付け、常時電源コードを挟み込み、運転を妨げないように配線します。



4 DCポートに常時電源コードを接続します。

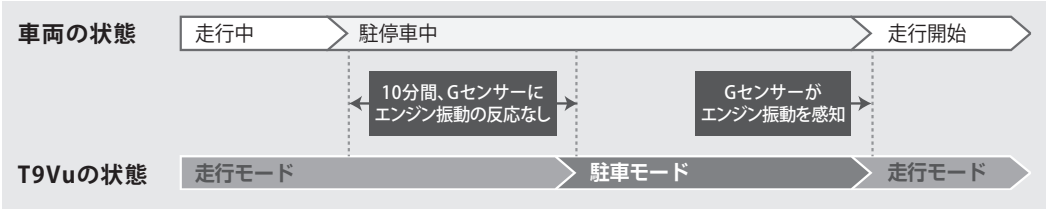
製品の機能

▌2 種類の動作モード

T9Vuには、基本となる『走行モード』に加え、常時電源コード（オプション）を設置している場合に使用できる『駐車モード』が搭載されています。

走行モードは本体の起動後に自動で開始されます。常時録画を行いながら衝撃を監視し、撮り逃しを防ぎます。
駐車モードでは常時録画を行いません。動体・衝撃を監視し、センサーに反応があった場合のみ録画を行います。
micromicroSDカードの容量を節約し、効率的にデータを残すことができます。

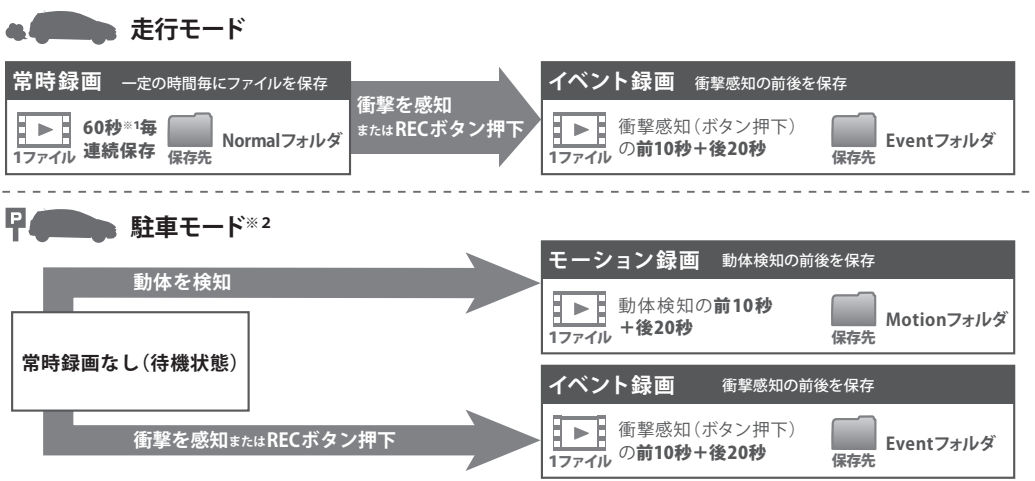
Gセンサーが10分間エンジン振動を感知しなかった場合／RECボタンを長押しした場合は、駐車モードに切り替わります。
Gセンサーがエンジン振動を感知した場合／RECボタンを長押しした場合は、駐車モードから走行モードに復帰します。



シガー用電源コードで設置している場合は、駐停車した（エンジンをオフにした）時点でT9Vuへの電源供給が停止されます。駐車モードに入らずに、そのまま本体の電源がオフになります。

▌動作モード・録画方式の仕様

⚠ 注意 保存先のフォルダが容量上限に達している場合、古いファイルを削除して、新しいファイルを保存します。



※1　常時録画ファイルの保存間隔は、環境設定で変更することができます。
※2　駐車モードを使用する際は、常時電源コード（オプション）が必要となります。

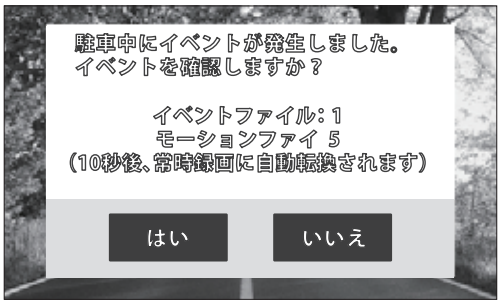
LEDの表示

項目	前方LED	PWR（電源）LED	REC（録音）LED	GPS信号LED
起動	–	点灯 赤		
ファームウェア更新	–	点灯 赤緑		
常時録画中	–	点滅 赤（リアカメラなし） 点滅 緑（リアカメラあり）	点灯 赤（録音機能オン） 消灯 ◯（録音機能オフ）	点灯 緑（GPS受信中） 点滅 赤（GPS受信なし） 消灯 □（GPSモジュールなし）
イベント録画中	–	高速点滅 赤（リアカメラなし） 高速点滅 緑（リアカメラあり）		
駐車モード中（待機状態）	遅速点滅	点滅 緑		
駐車モード中（録画中）	高速点滅	高速点滅 赤緑		
環境設定メニュー	–	点灯 赤（リアカメラなし） 点灯 緑（リアカメラあり）		
高温時保護機能の起動時	–	高速点滅 赤緑		

音声案内の内容

状態	内容
常時録画を開始	「録画を開始します。」
イベント録画を開始	ジングル音
駐車モードへ切替	「パーキングモードです。」
録画の終了	「終了します。」
SDカードエラー	「SDカードをチェックしてください。」
ファームウェアのアップデート開始	「ファームウェアのアップデートを開始します。」
ファームウェアのアップデート終了	「ファームウェアのアップデートを完了しました。」
リアカメラのエラー	ジングル音

▌検知情報レポート機能



駐車モードから走行モードに復帰する際、駐車モード中に記録したデータ（イベント録画・モーション録画）を知らせる機能です。駐停車中の録画ファイルを手軽に確認できます。

レポートウィンドウに表示されている『はい』をタッチすると、映像再生モードに移行します。（録画は中止されます）

»通知ウィンドウが表示されている間は、常時録画のみ動作可能です。他の動作（イベント録画やボタン操作）はできません。

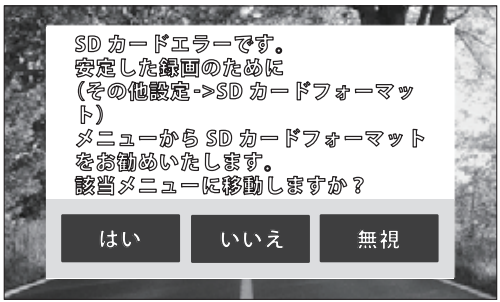
»通知ウィンドウが表示されている間は、3秒間隔でジングル音が流れて知らせます。

»画面を10秒間タッチしなかった場合、または通知ウィンドウで『いいえ』をタッチした場合は、通知ウィンドウを閉じます。

»イベント録画は、Gセンサーに反応があった場合に実行されます。そのため、大型車両の通行などによる振動でも録画される場合があります。Gセンサーの感度は環境設定で変更できますが、感度を低くすると弱い衝撃に反応しなくなります。

»モーション録画は、モーションセンサーに反応があった場合に実行されます。そのため、動きのある物体は人や車両以外でも録画される場合があります。モーションセンサーの感度は撮影設定で変更できますが、感度を低くすると動体を捉えづらくなります。

▌フォーマットの定期アラーム機能



本機能は、断片化したファイルの蓄積を防ぐため、ユーザーにmicroSDカードをフォーマットするよう定期的に通知する機能です。

ドライブレコーダーは大容量のデータを保存し続けます。定期フォーマットを行わずに使用を続けると、microSDカードには断片化したファイルが蓄積し、書き込み速度の低下や、修復不能なファイルエラーを引き起こす場合があります。

安定した製品動作および製品寿命の維持のため、定期的にフォーマットすることをお勧めします。

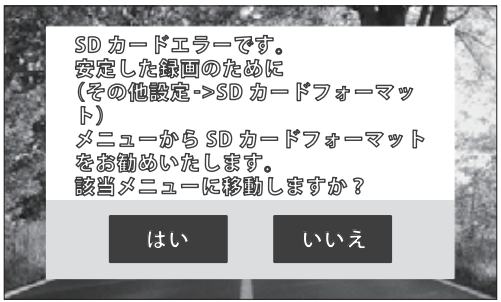
»フォーマットを行うと録画データがすべて削除されますのでご注意ください。

»通知ウィンドウで『はい』をタッチすると、本体メニューの『環境設定：SDカードをフォーマット』に移動します。

»『いいえ』をタッチした場合や、10秒間タッチしなかった場合は、通知ウィンドウが消去されます。（1時間後に再度通知ウィンドウが表示されます。）

»『無視』をタッチした場合、通知ウィンドウは10日後まで表示されません。

ファイルエラー検出機能



本機能は、microSDカード内の破損ファイルを自動でチェックする機能です。

microSDカードに大量のデータを書き込む際、ファイル生成エラーが生じる場合があります。これらは破損したファイルとしてmicroSDカード内に残り、動作不良の原因となる恐れがあります。

本機能で破損ファイルを検出した場合、フォーマットを行うようユーザーに通知するので、動作不良の発生を未然に抑えることができます。

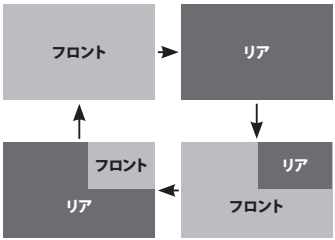
»フォーマットを行うと録画データがすべて削除されますのでご注意ください。

»通知ウィンドウで『はい』をタッチすると、本体設定メニューの『環境設定：SDカードをフォーマット』に移動します。

»『いいえ』をタッチした場合や、10秒間タッチしなかった場合は、通知ウィンドウが消去されます。

液晶画面の操作

▌ライブプレビューの表示



リアカメラを設置している場合、液晶画面の右上をタッチすることで、表示映像を切り替えることができます。（外部ディスプレイ出力時は切り替えできません。本体メニューの『システム設定：LCD映像出力』（➡P.23）から変更してください）
また、ライブプレビューの画面下には、動作状態に関する情報が表示されます。表示は、本体メニューの『システム設定：OSD出力』でオフにできます。（➡P.23）

・表示される情報の詳細

画面左下：本体設定に基づく録画日時
画面右下：録画時の電圧

▌録音のオン／オフを切り替える

ライブプレビュー画面の左下をタッチすると、2種類のアイコンが表示されます。
右側のアイコンをタッチすると、録音のオン／オフを切り替えます。
オンの状態では、緑色のアイコンが表示され、録画中にREC（録音）LEDが点灯します。
オフの状態では、白色のアイコンと斜線が表示され、録画中にREC（録音）LEDが消灯します。

▌本体メニューを表示する

ライブプレビュー

ライブプレビュー画面の左下をタッチすると、2つのアイコンが表示されます。
左側の『メニューアイコン』をタッチすると、本体メニュー画面へ移行します。
※本体メニューの表示中は録画が中止されます。

本体メニュー

本体メニューには、左図のようなアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすると、設定の変更や、録画ファイルの再生を行うことができます。
本体メニューからライブプレビューへ戻るには、『撮影モード』をタッチします。

① 撮影モード　　現在の設定で録画を開始します。
② 再生モード　　録画ファイルを再生します。
③～⑥ 各種設定　T9Vuの設定を変更します。
詳細はP.22～P.23をご参照ください。

▌設定変更ができる項目の一覧

撮影設定

モードの設定	『常時』にすると通常モード時に常時＋イベント録画を行ないます。(『イベント』はイベント録画のみ)
映像品質	**最高画質／高画質／標準画質** 録画映像の解像度設定を行います。
録画時間	常時録画の１ファイルあたりの長さを設定します。
録画チャンネル	現在の録画状態（１カメラ・２カメラ）を確認する項目です。
モーション感度	動体検出のレベルを設定します。大きい数字ほど、微細な動体にも反応するようになります。
Gセンサー感度	衝撃感知のレベルを設定します。大きい数字ほど、微細な衝撃にも反応するようになります。
音声ボリューム	案内音声の音量を設定します。大きい数字ほど、音量が大きくなります。
録画ボリューム	録音の音量を設定します。大きい数字ほど、大きな音で録音されます。
SDカード フォルダ比率	各録画方式の保存比率を設定します。各録画方式の名前部分をタッチすると５％刻みで変動します。
駐車場モード	『ON』の場合、駐車モードへの切り替えを自動で行います。『OFF』の場合、ボタン操作を行わない限りは駐車モードに切り替わりません。

時間設定

時間設定	日時を手動で変更します。
標準時間	タイムゾーンを設定します。 日本はUTC+9:00で、変更の必要はありません。
サマータイム	サマータイムが適用される地域ではオンにします。 (日本では基本的に使用しません)

システム設定

遮断電圧	**12.0V（24.0V）／12.1V（24.1V）／12.2V（24.2V）／使用しない** 駐車モード時、設定電圧を下回った場合に本体の電源をオフにします。
前方センサーの設定	**明るさ／コントラスト／色** フロントカメラの録画映像を調節します。
LCD スクリーンセーバー	**常に前に／30秒／1分** 液晶画面の表示方法を設定します。『常に前に』以外の場合、設定時間で消灯します。
TVout出力方式	**NTSC／PAL** 外部出力時の方式を選択します。
LCD映像出力	**前方＋後方／後方＋前方／前方／後方** 起動時の液晶画面表示や、外部出力時のメイン＋ワイプ表示を設定します。
OSD出力	**オン／オフ** 液晶画面上の時間・電圧表示について設定します。
前方LED設定	**オン／オフ** セキュリティLEDの点灯・消灯を選択します。
高温遮断	**オン／オフ** 駐車モード中に本体が高温になった場合、電源をオフにする（オン）／しない（オフ）を選択します。

環境設定

ファームウェア更新	手動でファームウェアの更新を行う機能です。 通常は、更新用ファームウェアを入れた状態で起動すると自動的にアップデートされるため、使用しません。
SDカード フォーマット	microSDカードをフォーマットする機能です。保存されている録画ファイルなどがすべて削除されますのでご注意ください。
タッチ校正	液晶画面のタッチ位置を補正する機能です。
環境設定 初期化	本体設定を全て初期化します。変更した項目がすべて初期状態に戻されますのでご注意ください。
システム情報	ファームウェアのバージョンなど、本体に関する情報が表示されます。

▌液晶画面での録画データ再生

本体メニュー

1 本体メニューから再生モードを選択します。

再生ファイル一覧

2 データは録画方式ごとにカテゴリ分けされています。上部のタブを切り替えることでカテゴリを切り替えます。

再生画面

3 再生したい録画データをタッチすると、再生が開始されます。

再生画面

再生画面には、左図のように動画とメニューバーが表示されます。
メニューバーのアイコンをタッチして、録画の再生や停止などを操作します。
メニューバーはしばらく操作しないと自動的に隠されます。その場合は、画面の下部分をタッチすることで、再度表示することができます。

① 前のファイルを選択
② 再生／停止
③ 次のファイルを選択
④ フロント映像・リア映像を切り替え
⑤ 再生ファイル一覧に戻る

専用プレイヤーを使用する

▌T9Vu Playerの特長

T9Vu PlayerはT9Vuの専用プレイヤーです。一般のプレイヤーよりも詳細な情報を確認することができます。

»２カメラ同時再生	フロントカメラ・リアカメラそれぞれの映像を同期させ、同時に再生することができます。
»Gセンサーグラフ表示	再生中の映像と同期して、Gセンサーの反応をグラフに表示します。
»ファイルソート機能	常時録画・イベント録画・モーション録画など、録画方式別にリスト表示することができます。
»映像調整機能	明るさ・コントラスト・彩度を、映像が見やすいように調整しながら閲覧することができます。
»マップ連動機能	GPSモジュールを使用して録画した場合、再生中の映像と同期して、マップ上に車両の位置を表示します。
»速度表示機能	GPSモジュールを使用して録画した場合、再生中の映像と同期して、車両の速度を表示します。

▌インストールの手順

1 付属のmicroSDカードをパソコンに接続します。microSDカードを直接読み込めない場合は、SDアダプタを使用してください。

2 パソコンに接続したmicroSDカードはリムーバブルディスクとして認識されます。
自動実行ウィンドウから『フォルダを開いてファイルを表示』を選択してください。

3 フォルダの中にT9Vu Playerのインストールプログラム『setup.exe』が含まれています。ダブルクリックして実行してください。

4 インストールウィザードが実行されますので、表示される手順に従ってインストールしてください。

▌システム要件

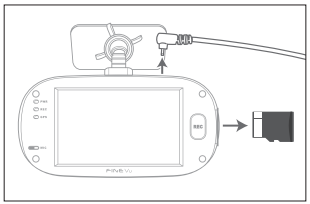
OS	Windows Vista（32bit） Window7（32bit, 64bit）
メモリ	Pentium4 2.8GHz＆RAM 1GB以上
モニタ解像度	1280×768以上
その他	DirectX9.0c以上

▌T9Vu Playerの画面構成

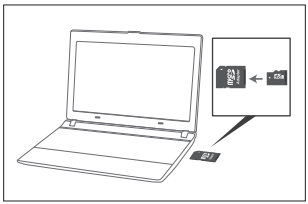
①	**カメラ切り替え**	1ch（フロントカメラ映像）／2ch（フロント・リア映像）
②	**プログラムメニュー**	**参照➡P.29環境設定（T9Vu Player）』** **参照➡P.31『環境設定（T9Vu）』** 現在の画面を印刷 現在の画面を画像データとして保存 ズーム（1ch表示時のみ可能）
③	**ファイル・マップ切替**	ファイルリストとGPSマップ表示を切り替えます。
④	**ファイル分割**	フロント・リアの映像を分割します。
⑤	**再生画面**	動画を表示します。2ch表示時にクリックすると、クリックした側のカメラが選択状態になります。
⑥	**ファイルの参照**	microSDカード参照し、カード内に保存されている録画ファイルをリストに表示します。 常時録画ファイルを表示／非表示にします。 イベント録画ファイルを表示／非表示にします。 モーション録画ファイルを表示／非表示にします。 **参照➡P.28『録画ファイルをリストに読み込む』**
⑦	**ファイルリスト**	再生可能なファイルの一覧が表示されます。
⑧	**シークバー**	現在の再生位置を表します。また、スライダーをドラッグで動かし、再生位置を変えることができます。
⑨	**画面表示**	**Full** 動画を全画面で表示します。 **VER** 選択中のカメラ映像を縦に反転します。 **HOR** 選択中のカメラ映像を横に反転します。

⑩	**動画調整**	スライダーを動かし、動画の明るさなどを調整します。 **BRIGHTNESS** 明るさ **CONTRAST** コントラスト **CHROMA** 彩度 **RESET** 動画調整をリセット
⑪	**GPS信号**	再生中の録画ファイルにGPS信号が含まれている場合、このマークが点灯します。
⑫	**動画制御**	再生 停止 早送り 早戻し 次のファイルを再生 前のファイルを再生
⑬	**GPS速度表示**	再生中の録画ファイルにGPS信号が含まれている場合、GPS速度を表示します。
⑭	**音量調整**	スライダーを動かし、動画の音量を調整します。
⑮	**車両の座標**	再生中の録画ファイルにGPS信号が含まれている場合、車両の座標を表示します。 車両の緯度を表示します。 車両の経度を表示します。
⑯	**ファイル時間**	ファイル総時間と、現在再生中の時間を表示します。
⑰	**Gセンサーグラフ**	衝撃センサーの推移を表示します。

▌録画データをリストに読み込む



1 T9Vuの電源コードを外して電源をオフにし、フロントカメラからmicroSDカードを取り出します。



2 microSDカードをパソコンに接続します。(microSDカード用の読み込みポートがない場合、付属のSDカードアダプタをご利用ください。)

3 パソコンにインストールされているT9Vu Playerを開きます。

4 をクリックし、録画データの保存されている場所(リムーバブルディスク(F:)など)を参照して、ファイルリストにデータを読み込みます。

5 ファイルリストの再生したいファイルをダブルクリックし、再生します。

リストに表示されたファイル名には、録画方式ごとのアイコンが付けられています。

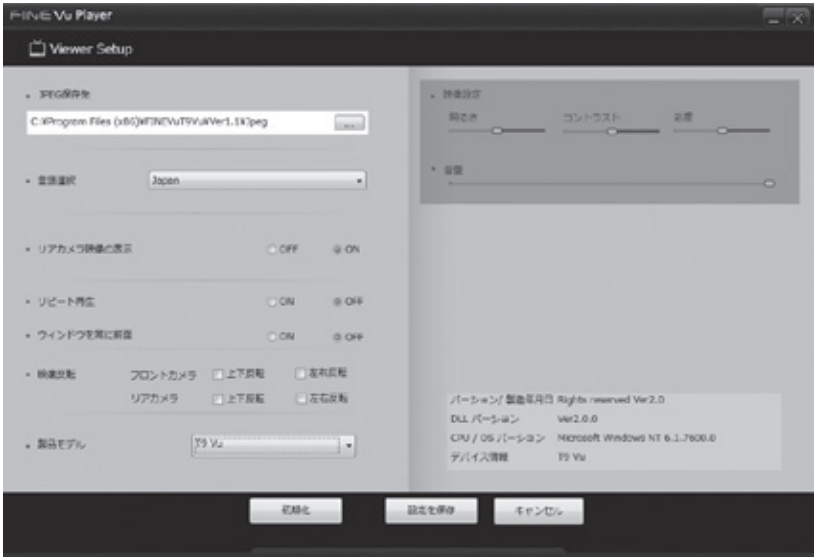
常時録画ファイル

イベント録画ファイル

モーション録画ファイル

T9Vu Playerの環境設定

プログラムメニューの環境設定（T9Vu Player）から、T9Vu Playerの設定を変更することができます。



プレイヤーの環境設定を変更すると、次にプレイヤーを起動した時も、設定を変更した状態が維持されます。よく使う設定はあらかじめ変更しておくことで利便性が向上します。

JPEG保存先	スクリーンショットで生成したデータをどのフォルダに保存するか指定します。	**映像反転**	フロントカメラとリアカメラの映像反転オン／オフを選択します。
言語を選択	プレイヤーで表示される言語を選択します。	**製品モデル**	使用している製品の名称を選択します。
リアカメラ映像の表示	動画を1ch（フロントカメラのみ）で表示するか、または2ch（フロント・リア）で表示するか選択します。	**映像調整**	スライダを動かすことで、動画の明るさ・コントラスト・彩度を調整します。
リピート再生	動画のリピート再生をオン／オフにします。	**音量**	スライダを動かすことで、動画の音量を調整します。
ウィンドウ を常に前面表示	T9Vu Playerのウィンドウに対し、常に最前面表示する機能をオン／オフにします。	**システム情報**	T9Vu Playerのバージョンや、お使いのパソコンのOSなどが表示されます。

▌T9Vu Playerの設定を変更する

1 プログラムメニューの『環境設定（T9Vu Player）』をクリックします。

2 プレイヤー設定に変更を加えます。

3 『設定を保存』を押してプレイヤーの設定を保存します。

T9V本体の環境設定

プログラムメニューの環境設定（T9Vu）から、ドライブレコーダー本体の設定を変更することができます。

録画モード設定	『常時』にすると通常モード時に常時＋イベント録画を行ないます。(『イベント』はイベント録画のみ)
フロントカメラ画質	フロントカメラの撮影画質を設定します。
リアカメラ画質	リアカメラの撮影画質を設定します。
常時録画の保存間隔	常時録画ファイルの保存間隔を設定します。
リアカメラの撮影	自動的に識別されるため、使用しません。
モーション検知レベル	モーション検知レベルを設定します。
音声案内音量	スピーカー音量を設定します。
録音音量	録音の音量を設定します。
遮断電圧	常時電源コード使用時に適用される機能です。電源を自動遮断する値を設定し、バッテリー上がりから保護します。
駐車モード自動切替	駐車モードへの自動切り替えオン／オフを設定します。オンの場合、10分間Gセンサーに反応がないと駐車モードへ自動移行します。
液晶画面の自動消灯	液晶画面が自動消灯する時間を設定します。
TV OUT出力方式	外部ディスプレイへの映像出力方式を設定します。

液晶画面の映像表示	起動直後のライブプレビューの表示方法を設定します。
液晶画面の情報表示	『オン』にすると、ライブプレビュー上に電圧や時間の情報を表示します。
前方LED設定	『オン』にすると、駐車モード中にセキュリティLEDが点灯します。
時間設定	時間設定を手動で設定します。
時間の自動同期	『時間設定』を反映させる場合は『ON』にしてください。
標準時間	タイムゾーンを設定します。
サマータイム	サマータイムの適用を設定します。
高温時遮断機能	『オン』にすると、駐車モード中に本体が高温になった場合、自動で電源をオフにします。
カメラセンサー	明るさ、コントラスト、彩度を設定します。
各録画方式の保存比率	各録画方式の保存比率を設定します。
走行/駐車場モード Gセンサー（X、Y、Z）	Gセンサーによる衝撃の感度を設定します。

▌T9Vu本体の設定を変更する

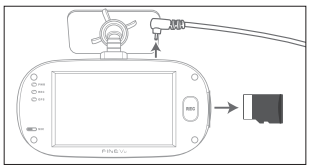
1 T9Vu用のmicroSDカードをパソコンに接続します。🔍を押して接続しているドライバを選択します。(リムーバブルディスク(F:) など)

2 プログラムメニューの『📷環境設定(T9Vu)』をクリックします。T9Vuの設定に変更を加えます。

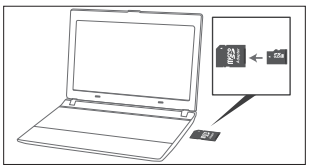
3 『設定を保存』を押してmicroSDカードにT9Vuの設定を保存します。

▌録画したデータをパソコンにバックアップする

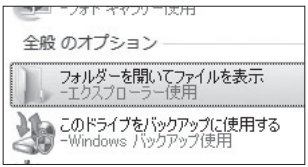
本体にセットしているmicroSDカードのデータは、録画を続けていると上書きされてしまいます。
そのため、残しておきたい場面のデータは、パソコンなどにコピーして保管することをお勧めいたします。



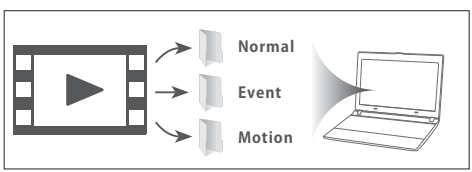
1 T9Vuの電源コードを抜いて、フロントカメラからmicroSDカードを取り出します。



2 microSDカードをパソコンに接続します。(microSDカード用の読み込みポートがない場合、付属のSDカードアダプタをご利用ください。)



3 『自動再生』ウィンドウから『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックし、microSDカード内にあるデータを表示します。



4 録画ファイルは、録画方式別にフォルダ分けされています。必要なファイルは、パソコン側の保存領域などへコピーして保管ください。

フォルダ名と内容

Normal	常時録画のデータ
Event	イベント録画のデータ
Motion	モーション録画のデータ
Setup.exe	T9Vuプレイヤーのインストールプログラム
setup.cfg	T9Vuの本体設定ファイル
system_info1.bin	
T9 Vu.dir	

microSDカードのフォーマット

本体にセットしているmicroSDカードには、使用を続けることで断片化したファイルが蓄積していきます。
また、microSDカードには書き込み回数の上限があるため、大量の動画データを書き込むドライブレコーダーでは、他の製品で利用するよりも消耗が激しくなってしまいます。
書き込みエラーや動作不良などを防ぐため、microSDカードは定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行っても書き込みエラーが多発する場合は、microSDカードの交換が必要となる可能性があります。

T9Vu本体でフォーマットする方法

T9Vu本体からフォーマットを行う場合は、本体メニューの『環境設定』から『SDカードフォーマット』を実行します。

パソコンでフォーマットする方法

パソコンでフォーマットを行う場合は、オペレーティングシステム（Windowsなど）に記録媒体のフォーマット機能が搭載されています。

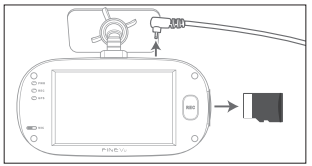
ただし、こちらは汎用のフォーマット機能で、microSDカード専用の機能ではありません。microSDカードをより安定した状態に保つためには、専用ソフトの使用が推奨されます。

専用のフォーマットソフトは、メモリーカード規格を策定する『SDアソシエーション』から無料で提供されています。下記URLをご参照ください。

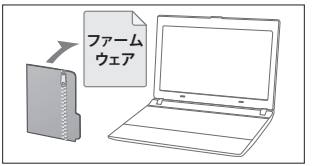
SDアソシエーション SD/SDHC/SDXC用 SDフォーマッター4.0
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

※本内容は2015年６月現在の情報に基づいて作成されたものです。

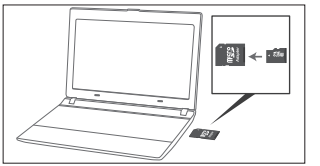
ファームウェアのアップグレード



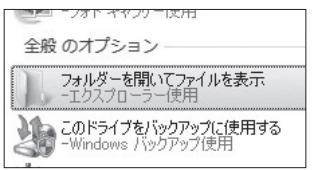
1 T9Vuの電源コードを抜いて、フロントカメラからmicroSDカードを取り出します。



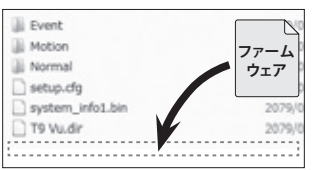
2 パソコンで株式会社INBYTEのホームページ（www.inbyte.jp）から最新のファームウェアをダウンロードします。圧縮されている場合は解凍します。



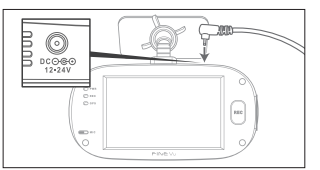
3 microSDカードをパソコンに接続します。（microSDカード用の読み込みポートがない場合、付属のmicroSDカードアダプタをご利用ください。）



4 『自動再生』ウィンドウから『フォルダを開いてファイルを表示』をクリックし、microSDカード内にあるデータを表示します。



5 表示されたフォルダの中にダウンロードしたファームウェアをコピーします。



6 コピーが完了したmicroSDカードをT9Vu本体に入れて起動すると、自動的にアップグレードが行われます。

故障かな?と思った時は

▌本体の電源が入らない

»電源コードに損傷がないか、正しく接続されているかご確認ください。

»(常時電源コードをご利用の場合)車両の電圧と、本体のバッテリー保護設定をご確認ください。

»microSDカードに不具合がないか、正規品(または推奨スペックを満たすもの)であるかご確認ください。

»リセットボタン(➡P.8)を押してください。

▌液晶画面が反応しない

»リセットボタン(➡P.8)を押して本体を再起動してください。

▌目的の録画データが見つからない

»(リアカメラの映像が見当たらない場合)リア映像はフロント映像とあわせて1つのファイルに保存され、通常のプレイヤーではリア映像を閲覧できない場合があります。T9Vu Playerをご利用いただくか、T9Vu Playerのファイル分割機能をご利用ください。T9Vu Playerでリア映像が再生されない場合は、リアカメラケーブルが正しく接続されていない可能性があります。

»録画ファイルは、記録された状況によりフォルダ分けされます。各フォルダ内をご参照ください。

»T9Vu Playerで録画データが見つからない場合、ファイルの参照(➡P.27)での参照先が間違っているか、各録画方式のボタン(N/E/P)がオンになっていない可能性があります。

»新たに録画ファイルを書き込む際、フォルダ容量を超過する場合は古いファイルから順に削除されます。

▌録画ファイルがパソコンで再生できない

»お使いのパソコンの環境・スペックにより、正常に再生できない場合があります。他のパソコンでお試しください。

»T9Vu Playerでデータを閲覧してください。他プレイヤーでは正常に再生されない場合があります。

▌モーション録画が正しく動作しない

»T9Vuは振動の有無により駐車中かどうかを判断します。そのため、駐車環境によっては駐車モードに入らない場合があります。

»シガー用電源コードで設置している場合でも、エンジン振動の極端に小さい車種でアイドリング状態を保っていると駐車モードに入ることがあります。(エンジン振動を感知できないため)

▌動体がないモーション録画データが保存される

»モーション録画は動くものを検知して実行されます。そのため、晴天時の光のちらつき・風による樹木の動き・雨天時の水滴などにも反応して録画が行われる場合があります。

»動体を検知しすぎてしまう場合は、本体メニューの『撮影設定:モーション感度』を変更することで、センサーが動体を検知する感度を調整してください。

▌microSDカードにsetup.exeがない

»microSDカードのフォーマットを行うと、setup.exeも削除されます。メーカーホームページ(www.inbyte.jp)内の『サポート情報』より新たにダウンロードしてください。

▌メモリーカードのエラーが発生する

»セット付属(または専用)のmicroSDカードをご利用ください。動作要件を満たさない場合・フォーマット形式が異なる場合はエラーが発生することがあります。

»メモリーカードのフォーマットを行ってください。

»microSDカードには書き込み回数の上限があります。長期間(製品の使用頻度により半年から一年以上)使用した場合は、新しいmicroSDカードと交換してください。

»電源入力が不安定な場合、microSDカードに正常にデータを保存できないことがあります。電源コードをご確認ください。

録画時間と仕様の一覧

	画質	16GB			32GB		
		常時録画（50%）	イベント録画（30%）	モーション録画（20%）	常時録画（50%）	イベント録画（30%）	モーション録画（20%）
フロントカメラのみ使用時	最高画質	130分	78分	51分	266分	158分	105分
	高画質	174分	105分	69分	353分	212分	141分
	標準画質	262分	157分	104分	531分	318分	212分
フロントカメラ・リアカメラ使用時	最高画質	141分	83分	55分	285分	168分	111分
	高画質	176分	105分	69分	356分	211分	140分
	標準画質	265分	161分	107分	535分	325分	216分

製品名	T9Vu	映像圧縮	H.264 / AVC
寸法	フロント　W106×H53×D25（mm）	音声圧縮	PCM
	リア　W49×H26×D37（mm）	G-Sensor	内蔵３軸加速度センサー
重さ	フロント　約88g（スタンド別）／98g（スタンドを含む）	GPS	外付けGPSモジュール（オプション）
	リア　約22g	オーディオ	内蔵マイク
記録媒体	microSDカード（最大32GBまで対応／Class10以上を推奨）	スピーカー	内蔵スピーカー
レンズ	フロント　200万画素 CMOSセンサー	液晶画面	3.0"TFT LCD、400 X240　抵抗膜方式タッチスクリーン
	リア　30万画素 CMOSセンサー	電源	DC 12V～24V
フレームレート	１カメラ 30fps	消費電力	3.9W
	２カメラ 前方：20fps／後方：10fps	バッテリー	スーパーキャパシタ
視野角	フロント　対角120度 / 水平94度 / 垂直50度	動作温度	-20℃ ～ 70℃
	リア　対角170度 / 水平135度 / 垂直80度	保管温度	-40℃ ～ 85℃
録画解像度	フロント　HD（1280×720）	インターフェース	GPSポート、2CH接続ポート
	リア　VGA（640×480）		映像出力ポート、セキュリティLED

保証とアフターサービス

▌保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より１年間無償で修理または交換いたします。修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
2. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担いただきますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等を避けるため簡易書留をご利用ください。
3. 修理または交換の際、製品の取り外し・取り付け等によって発生する工賃は、お客様がご負担いただきますようお願い致します。
4. 保証期間内であっても以下の場合は有償修理となります。
   イ. 誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
   ロ. 火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
   ハ. 許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
   ニ. 使用中に生じたキズ等の外観上の変化
   ホ. 消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
   ヘ. microSDカードの故障（microSDカードは消耗品のため、６ヶ月間の保証となります）
   ト. 電池の液もれによる故障、損傷
   チ. 保証書の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
5. 以下の内容については保証いたしかねますのでご了承ください。
   イ. 記録されたデータ
   ロ. 発生した事故の損害
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「故障かな？と思った時は」（P.36）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合はサポートセンターまでご相談ください。

▌サポートセンター

株式会社INBYTE（インバイト）

〒105-0013　東京都港区浜松町1-17-4　第２丸芝ビル２F

メールアドレス　admin@inbyte.jp
電話番号　03-6809-1702
平日 10：30～18：00（当社指定休業日を除く）
ホームページ　http://inbyte.jp/

» 本製品に関するお問い合わせ・サポートは、日本国内限定とさせていただきます。

» 通話中の場合、しばらくたってからお掛け直しくださいますようお願い申し上げます。

» 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

製品保証書

機種名	FineVu T9Vu	型番	
保証期間	お買い上げ日より 1年間	お買い上げ日	年　月　日

お客様		
	お名前	
	ご住所	〒　ー
	お電話番号	ー　ー
	電子メール	@

販売店	

●お客様へ
本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいてください。
※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

●販売店様へ
お客様へのお渡し時に、販売店欄にご記入もしくは押印ください。

株式会社 INBYTE（インバイト）
〒105-0013
東京都港区浜松町1-17-4 第2丸芝ビル2階
TEL 03-6809-1702 （平日10：30～18：00）

www.inbyte.jp

FINE DIGITAL

www.FineVu.com